

建設総務合同委員会

十月二十二日午後二時

去冬

村尾種吉

大久保一了

橋三郎

石川常子

設衆美知。

井上賴三

並木季

田利和

續古詩卷

甲子

米泉董

合 里 高 子

平反

大野
總
長
言
於
未
達
長

上野
山

12

雲多
三
一一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十
二十一
二十二
二十三
二十四
二十五
二十六
二十七
二十八
二十九
三十
三十一
三十二
三十三
三十四
三十五
三十六
三十七
三十八
三十九
四十
四十一
四十二
四十三
四十四
四十五
四十六
四十七
四十八
四十九
五十
五十一
五十二
五十三
五十四
五十五
五十六
五十七
五十八
五十九
六十
六十一
六十二
六十三
六十四
六十五
六十六
六十七
六十八
六十九
七十
七十一
七十二
七十三
七十四
七十五
七十六
七十七
七十八
七十九
八十
八十一
八十二
八十三
八十四
八十五
八十六
八十七
八十八
八十九
九十
九十一
九十二
九十三
九十四
九十五
九十六
九十七
九十八
九十九
一百

松原 九七人 五ヨ内程五と一ヨ、 貸付は、五ヨ内程五

五
三
一

羽
あ、
H
一五〇回
くく
訂
了
瑞
永
一
年
一五〇回
て
あ
る
年
の
后
部
之

[illegible]

結 一七五円 係で同交一五が 決まらず 一八〇円と一七五円は日

[illegible]

楊子。明後。知。は。二。品。同。位。に。なり。て。う。

収
強
し
ろ
ろ
い
よ
よう
てい
あ
う

中
も
け
て
や
つ
を
う
と
う
か。

支拂はニ、りらと一、そ
 今、の予、を、持、出、を、け、内、す、
 といと

米ぬか
ハ、俵付すゝみ
そのおと
決意一を
方かよく
けりあ

上にて勞働を
欲するに上りて
戴き、之を

大久保
田村友貞
山下キヨ子と阿成で

かゝるものは判らぬ

井上
印は今迄
おすわ
りな
るに
あ
ら
う

大久保 法保のまゝから云ておか
いかに
社
市
傷
副
利
を
加
え
られ
は
い
り
あ
る

教育

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

五、のちろへていふ。

てやいね

よけいに出るから。仕手をやさしく云ふ強利はいたす。

仍如舊之
政務如舊

休
か
に
と
云
ふ
と
か
王
境
王
要
く
一
丁
も

イカサと云ふおれは、でやうて、義、ヨ、うい

力
と
美
欲
を
ま
せ
よ
美
味
か
ら
出
す
ぞ
あ
る。

下 楊三

田 かい 貸付を決定して裁可する、支給は最短期間を要する、支給は月々

議長 議論として、三ヶ月間はよいとして、支給は一ヶ月として、この線は絶

右の通り決定

建設委員会

昭和三年一月二十日午前九時

出席者

瀬右衛門 宮橋三郎 木尾四郎 田村祐一
米泉 薫 妻田謙吉

町長 助役 宮内課長 猪俣技師

議題

一、他市保育園取付道路の件

町長 他市保育園設置経過説明

現在の建設は老朽であるため、際新築をせよといふ話があるが、
丁度昨年度の今度分、三丁工事なる一丁で、
その三丁工事の当初予算に計上して、その右陳情を来たす。
九月の追加予算の時に、
規模は六丁、収容七五坪である、
坪一、五八坪、計二五八坪とある。

①、山内住宅東側土取跡の始末につき

現地視察

③ 熊野橋と新堀橋

熊野橋と五郎力程まで二倍の幅で、でやると敷えはけ、と以来

柳は特種な橋である。その二に分けて、設計してある。

その二の頃、水と道局から現地調査を要する、ことなる。

② 新堀橋は橋台が懸念となる。

熊野橋の設計、橋台方法でやると、どうも、おぼろげな意図がある。

アサヒの税金、九三〇円（三工年分）

熊野橋は設計通り行ふこと

鋼桁は、東山部が紹介する、四社とある。

橋台工は、田村建設、熊野建設、富山建設、東洋建設

③ 三三三、ふのふ、住宅の件

町長、一応、三三三、住宅の件

④ 實際面の道路の件

① 加美が、今日、一ぱ、で、終り、もう、町長、決え、けし

② 新堀五郎、柳、が、家、屋、四、件

③ 来る、る、路、線、を、承、諾、の、事、を、も、つ、か、ら、や、り、な、い、と、早、と、ん

設計、測量、を、や、り、な、い

測量、進行、中、補、助、金、五、千、円、分、校、取、付、道、路

お、屋、種、吉、に、東、側、の、改、修、の、件

田、ハ、ニ、お、屋、什、店、の、改、修、補、助、金、の、件

鈴、谷、大、久、保、利、員、の、道、路、の、件

長、沢、一、郎、の、道、路、の、件

志是く永田道の道路に

以上早急に承諾して取りて完了し、早急施工す

瀬田、一件、新、道、補、装、修、に

町長、地元の要請する道路は地元の要請附合を要するに（地帯）
都市計画画の要するは市が支弁してやつて
考えがたし、それよりよい

終了、午後二時四五分

建設委員会

昭和三十三年二月二十日午前九時

出席者

岡村利（調） 瀬古博義 宮橋嘉市 米泉 重

妻田幸義 飯野高次郎 村尾正一 妻田博義（遅参）

町長 川口圭助 役 高橋課長 猪俣主任

上野書記

一、駅前広場のことについて

町長、余り理想的に考えず、經費が不の故である、地元の協力にも限がある、
今、中心部のことでやりくりと考える、色々と検討する、
どの程度にすべきかと云ふことで、中心部と云ふのを決める、

米泉（地元議員代表）昨、晩、商業会の役員と会合、
都市計画画では時期が延びると思ふ、現在では自動車も軽便なものを早く
実現すべく、信用金庫も出来、角切程度、広場、米泉も考えている

地元の至急總會を用い
町の目標等を立てたところをみる
都市計画で急速に進めようがこれにせよ場合の実際時期等につき
市長、委員長に向う。

市長

鉄道側では凡ゆる技術者実施検討してござい。少くとも三ヶ月位はかかる
或いはもっと早急を要する場所があると云はれるかも知れぬ

助役

一応左様の申請を都に提出しある。左方は莫然としていふ
都市計画税は三箇月内迄予定される

米泉

五年もかかる年ぬきとでは内合はぬ
銘付は三丁三丁の当初予算に若干計上して載せられはそれにより
急ぎ米も上るでけまいか

委員長

助役の云ふ三箇月は当然駅前の左方に使用しそれだけまいか
設計とは別個に同切程として單獨でやるが早急をよくはまいか

米泉

田村祐一
地元の意見は米泉氏の言ふ通りでありますので仰承と致しなさい
広場はこの際ふん切らなくてはならぬ。信用金庫も三月の起工の運びとすうい

加藤市参事と交渉する者と見立を交換をいふか(一)と云ふことと云う

これが実現にこそは加藤市参事の協力を銘付するでけなうまい
早急に坪数、単価等とヤツチ銘付する方が次の段階に進むが

委員長

信用金庫は商店街の人々が多く関係し自らの金融圏であり
今から現在これが建築の問題を起すといふは不可解でありしうするに
かゝる問題である

委員長

その通りかと存じます。委員長の議決から意見を伺う

議長

都市計画の線と決まればそれで致しなう
三月中に建築の進めかき設計決定があるでこれを変更するが取り不
能とする。この委員会では決定しければ都市計画審議会等でも決定すれば
それで信用金庫の問題も解決するでけなうか

米泉

都市計画法で建築制限があるなら三ヶ月かっても結構である
左方も信用金庫も出来るといふ方法はそれのと云う

市長

吉妻氏のところ八九尺程ありていふでそこを提供して載せらうとも云う
吉妻氏の向は七間位ある(敷地内)

助役 畧図にて説明

委員長 内口五町の店舗とつくりまゐり、加茂氏はさういふ。(個人店舗) 四面(系図)をとり、委員長、とて決定早期実現を図る

町長 諸般の手続きあり、右の内通がまゐり、た場合はいすれ、審判する

◎ 街路橋梁名決定につて。

委員長 福生橋と決定

◎ 街路踏切の件 (田村祐一議員)

◎ 補道五路線側溝と銀座通りえ直る事

◎ 仲新道舗装の件

事附三七万圓、止廿九六米と七五米、
款は二四四號と振替、後、用切、は、な、ら、な、い

委員長 市街地、利用するの、すゝめ、かう、補修、し、て、

と、こ、と、する、の、か、よ、う、い

委員長 市街地、理由が、必要、ある、

委員長 市街地、決定、する、

◎ 長沢力二内、その二エ、その排水路、は、の、伸、(委員長)

町長 市街地、水、か、入、る、い、

委員長 路面、の水、と、る、の、か、原則、である、

現地調査の結果、実施、することに、決定、する、

◎ 長沢力二内、の、敷、設、の、件、

市、の、田、陳、情、より、

現地視察の結果、実施、測量、の、後、結論、と、する、

市、の、田、陳、情、より、

(市、の、田、陳、情、より、)

13 良 補め対象とする場合は一応の基準がある。

田村 来年度の新設路線工事の予定路線について説明をお願いします

課長 図面より指示 車道改修 五丁橋道路 大久保道路 田村新道路

中福生へ永田線改修

中福生へ永田線は、最近の調査もあつた土地の買収位は、なされたい。

田村 田村は、この路線外、オオノの学校の東側の道路改修、南地は、石川橋造り

へ平井へ橋へ最近の調査もあつた、この計画も、この限りである。

村長 田村は、この路線外、オオノの学校の東側の道路改修、南地は、石川橋造り

へ平井へ橋へ最近の調査もあつた、この計画も、この限りである。

田村 田村は、この路線外、オオノの学校の東側の道路改修、南地は、石川橋造り

へ平井へ橋へ最近の調査もあつた、この計画も、この限りである。

田村 田村は、この路線外、オオノの学校の東側の道路改修、南地は、石川橋造り

へ平井へ橋へ最近の調査もあつた、この計画も、この限りである。

田村 田村は、この路線外、オオノの学校の東側の道路改修、南地は、石川橋造り

へ平井へ橋へ最近の調査もあつた、この計画も、この限りである。

田村 田村は、この路線外、オオノの学校の東側の道路改修、南地は、石川橋造り

へ平井へ橋へ最近の調査もあつた、この計画も、この限りである。

田村 田村は、この路線外、オオノの学校の東側の道路改修、南地は、石川橋造り

へ平井へ橋へ最近の調査もあつた、この計画も、この限りである。

田村 田村は、この路線外、オオノの学校の東側の道路改修、南地は、石川橋造り

へ平井へ橋へ最近の調査もあつた、この計画も、この限りである。

田村 田村は、この路線外、オオノの学校の東側の道路改修、南地は、石川橋造り

へ平井へ橋へ最近の調査もあつた、この計画も、この限りである。

田村 田村は、この路線外、オオノの学校の東側の道路改修、南地は、石川橋造り

へ平井へ橋へ最近の調査もあつた、この計画も、この限りである。

田村 田村は、この路線外、オオノの学校の東側の道路改修、南地は、石川橋造り

へ平井へ橋へ最近の調査もあつた、この計画も、この限りである。

田村 田村は、この路線外、オオノの学校の東側の道路改修、南地は、石川橋造り

へ平井へ橋へ最近の調査もあつた、この計画も、この限りである。

田村 田村は、この路線外、オオノの学校の東側の道路改修、南地は、石川橋造り

へ平井へ橋へ最近の調査もあつた、この計画も、この限りである。

田村 田村は、この路線外、オオノの学校の東側の道路改修、南地は、石川橋造り